

2013年3月期 第3四半期(2012年12月) 連結決算発表総合表

2013年2月5日

双日株式会社

決算の主要特徴点

◆ 欧州及び中国などの新興国における景気は依然厳しい状況が続くなか、国内では12月の政権交代を契機に円安、株高傾向に転じ回復の兆しも見え始めた。
当第3四半期の当社の業績は、取扱商品について需要の減少や価格の下落があった結果、売上高・売上総利益・経常利益ともに前年同期比で減収・減益となった。
当期純利益については、前年同期の税制改正による繰延税金資産の取り崩しの反動により、増益となった。
(括弧内は前年同期比増減)

売上高 2兆9,481億円 (-3,525億円 / -10.7%)
・煙草および水産品の取扱数量減少などによる生活産業の減収
・前年同期計上の大型プラント輸出取引の反動による機械の減収
・取扱数量減少や価格の下落などによるエネルギー・金属の減収

売上総利益 1,411億円 (-156億円 / -10.0%)
・取扱数量減少や価格の下落などによるエネルギー・金属の減益
・欧州・中国・アジア地域における需要減少などによる化学の減益

経常利益 198億円 (-187億円 / -48.7%)
・売上総利益の減益による営業利益の減益
・持分法による投資利益の減少

当期純利益 110億円 (+245億円 / -)
・経常利益は減益となるも前年同期の繰延税金資産の取り崩しの反動により増益

◆ 2013年3月期 通期業績見通し (2012年11月2日公表)

売上高 4兆1,000億円
営業利益 360億円
経常利益 320億円
当期純利益 100億円

(前提条件)
為替レート(年平均 ¥/US\$) : 79
原油(Brent)価格(年平均 US\$/BBL) : 110

◆ 2013年3月期 配当

中間配当 : 1株当たり 1円 50銭
期末配当(予想) : 1株当たり 1円 50銭

要約損益計算書

左記○部分の主な内容	当第3四半期			前年同期		当期見通し	
	実績 a	上半期	第3四半期	実績 b	増減 a-b	c	進捗率 a/c
	(単位: 億円)						
売上高	29,481	19,526	9,955	33,006	-3,525	41,000	72%
生活産業セグメント				-1,326			
機械セグメント				-795			
エネルギー・金属セグメント				-753			
化学セグメント				-633			
売上総利益	1,411	948	463	1,567	-156	1,940	73%
(売上総利益率)	(4.79%)	(4.86%)	(4.65%)	(4.75%)	(0.04%)	(4.73%)	
エネルギー・金属セグメント				-115			
化学セグメント				-43			
機械セグメント				-22			
生活産業セグメント				+6			
人件費	-610	-402	-208	-601	-9		
物件費	-480	-321	-159	-471	-9		
減価償却費	-50	-34	-16	-45	-5		
(小計)	(-1,140)	(-757)	(-383)	(-1,117)	(-23)		
貸倒引当金繰入・貸倒償却	6	4	2	-23	29		
のれん償却額	-40	-27	-13	-41	1		
(販管費計)	(-1,174)	(-780)	(-394)	(-1,181)	(7)	-1,580	74%
営業利益	237	168	69	386	-149	360	66%
(営業利益率)	(0.80%)	(0.86%)	(0.69%)	(1.17%)	(-0.37%)	(0.88%)	
受取利息	37	25	12	36	1		
支払利息	-159	-108	-51	-176	17		
(金融収支)	(-122)	(-83)	(-39)	(-140)	(18)		
受取当金	22	17	5	26	-4		
(金融収支)	(-100)	(-66)	(-34)	(-114)	(14)		
持分法による投資利益	50	43	7	101	-51		
その他営業外収支	11	13	-2	12	-1		
(営業外収支計)	(-39)	(-10)	(-29)	(-1)	(-38)	-40	-
経常利益	198	158	40	385	-187	320	62%
固定資産売却益	13	12	1				
投資有価証券等売却益	82	57	25				
(特別利益小計)	(95)	(69)	(26)	(59)	(36)		
減損損失	-17	-4	-13				
投資有価証券等評価損失	-21	-117	96				
訴訟等損失	-6	-6	-				
関係会社等整理・引当損	-8	-2	-6				
その他特別損失	-3	-3	0				
(特別損失小計)	(-55)	(-132)	(77)	(-138)	(83)		
(特別損益計)	(40)	(-63)	(103)	(-79)	(119)	(-80)	-
税金等調整前当期純利益	238	95	143	306	-68	240	99%
法人税等	-68	-57	-11	-99	31		
法人税等調整額	-29	16	-45	-318	289		
(法人税等合計)	(-97)	(-41)	(-56)	(-417)	(320)		
少数株主損益調整前当期純利益	141	54	87	-111	252	135	104%
少数株主損益	-31	-24	-7	-24	-7		
当期純利益	110	30	80	-135	245	100	110%
基礎的収益力	181	141	40	396	-215		

要約貸借対照表と主要経営指標

左記○部分の主な内容	12/12末			12/3末			増減 d-e	
	残高 d	残高 e	増減 d-e	残高 e	増減 d-e			
	(単位: 億円)							
流動資産	12,541	12,981	-440					
現金及び預金	4,199	4,427	-228				社債の償還等	
受取手形及び売掛金	4,769	4,907	-138				化学品関連取引における減少等	
有価証券	1	13	-12					
たな卸資産	2,714	2,706	8					
短期貸付金	52	57	-5					
繰延税金資産	62	46	16					
その他の流動資産	778	881	-103				取引前渡金の減少等	
貸倒引当金	-34	-56	22					
固定資産	8,000	8,222	-222					
有形固定資産	2,395	2,333	62					
のれん	410	446	-36					
無形固定資産	839	799	40					
投資有価証券	2,983	3,139	-156				株価の変動による減少等	
長期貸付金	245	224	21					
固定化営業債権	604	682	-78					
繰延税金資産	178	224	-46					
投資不動産	316	319	-3					
その他の投資	487	528	-41					
貸倒引当金	-457	-472	15					
繰延資産	2	3	-1					
資産合計	20,543	21,206	-663					
流動負債	8,988	9,474	-486					
支払手形及び買掛金	4,449	4,618	-169				化学品関連取引および石油関連取引における減少等	
短期借入金	2,710	2,825	-115				1年内組替による増加および返済による減少	
コマーシャル・パル・ハ	20	20	-					
1年内償還予定の社債	300	350	-50				償還(-350)、1年内組替(+300)	
その他の流動負債	1,509	1,661	-152				取引前受金の減少等	
固定負債	8,098	8,427	-329					
社債	600	800	-200				1年内組替(-300)、新規発行(+100)	
長期借入金	6,788	6,910	-122				1年内組替による減少	
退職給付引当金	156	142	14					
その他の固定負債	554	575	-21					
負債合計	17,086	17,901	-815					
資本金	1,603	1,603	-					
資本剰余金	1,522	1,522	-					
利益剰余金	1,595	1,517	78				当期純利益(110)、支払配当(-38)	
自己株式	-2	-2	0					
(株主資本)	(4,718)	(4,640)	(78)					
その他有価証券評価差額金	33	76	-43				株価の変動による減少等	
繰延ヘッジ損益	18	9	9					
土地再評価差額金	-22	-21	-1					
為替換算調整勘定	-1,554	-1,636	82				為替の変動による増加	
在外会社の年金債務調整額(その他の包括利益累計額)	-9	-9	0					
少数株主持分	273	246	27					
純資産合計	3,457	3,305	152					
負債・純資産合計	20,543	21,206	-663					
GROSS有利子負債	10,418	10,905	-487					
NET有利子負債	6,219	6,478	-259					
NET負債倍率	※ 1.95倍	※ 2.12倍	-0.17倍				※ NET負債倍率の分母および自己資本比率の分子は、純資産から少数株主持分を除いて計算しております。	
自己資本比率	※ 15.5%	※ 14.4%	1.1%					
流動比率	139.5%	137.0%	2.5%					
長期調達比率	70.9%	70.7%	0.2%					
営業活動によるCF	427	402	25					
投資活動によるCF	-160	-444	284					
(フリーCF合計)	(267)	(42)	225					
財務活動によるCF	-581	-327	-254					
現金及び現金同等物の期末残高	4,005	3,708	297					

要約包括利益計算書

	当第3四半期			前年同期	
	実績	上半期	第3四半期	実績	増減
	(単位: 億円)				
少数株主損益調整前当期純利益	141	54	87	-111	
その他の包括利益	56	-170	226	-453	
包括利益	197	-116	313	-564	
(内訳)					
親会社株主に係る包括利益	158	-139	297	-582	
少数株主に係る包括利益	39	23	16	18	

キャッシュ・フローの状況

	当第3四半期		前年同期	
	実績	前年実績	実績	前年実績
	(単位: 億円)			
営業活動によるCF	427	402		
投資活動によるCF	-160	-444		
(フリーCF合計)	(267)	(42)		
財務活動によるCF	-581	-327		
現金及び現金同等物の期末残高	4,005	3,708		

(注1) 当期より、従来は「生活産業」の区分に属していましたが国内不動産関連事業を「その他」へ変更しております。また、従来の「化学品・機能素材」を「化学」へ変更しております。要約損益計算書におきましては、変更後の事業区分に基づき、各セグメントの増減額を記載しております。

(注2) 基礎的収益力
基礎的収益力 = 営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却除前) + 金利収支 + 受取配当金 + 持分法による投資利益

(注3) 将来情報に関するご注意
上記の業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示にてお知らせいたします。

(単位:億円)

P/L

	12/12期 実績 (累計) (※1)	11/12期 実績 (累計) (※1)	増減	13/3期 見直し (12/11/2公表)	進捗率 (対見直し)
売上高	29,481	33,006	▲ 3,525	41,000	71.9%
売上総利益	1,411	1,567	▲ 156	1,940	72.7%
(売上総利益率)	(4.79%)	(4.75%)	(+0.04%)	(4.73%)	
機械	475	497	▲ 22	650	73.1%
エネルギー・金属	244	359	▲ 115	320	76.3%
化学	254	297	▲ 43	370	68.6%
生活産業	386	380	+ 6	545	70.8%
その他	52	34	+ 18	55	94.5%
販売費	▲ 1,174	▲ 1,181	+ 7	▲ 1,580	74.3%
営業利益	237	386	▲ 149	360	65.8%
(営業利益率)	(0.80%)	(1.17%)	(▲0.37%)	(0.88%)	
営業外収支	▲ 39	▲ 1	▲ 38	▲ 40	-
経常利益	198	385	▲ 187	320	61.9%
(経常利益率)	(0.67%)	(1.17%)	(▲0.50%)	(0.78%)	
機械	14	64	▲ 50	50	28.0%
エネルギー・金属	27	165	▲ 138	80	33.8%
化学	45	79	▲ 34	80	56.3%
生活産業	88	76	+ 12	110	80.0%
その他	24	1	+ 23	0	-
特別損益	40	▲ 79	+ 119	▲ 80	-
税金等調整前当期純利益	238	306	▲ 68	240	99.2%
少数株主損益調整前当期純利益	141	▲ 111	+ 252	135	104.4%
当期純利益	110	▲ 135	+ 245	100	110.0%
機械	18	27	▲ 9	30	60.0%
エネルギー・金属	17	146	▲ 129	30	56.7%
化学	19	47	▲ 28	45	42.2%
生活産業	49	21	+ 28	60	81.7%
その他	7	▲ 376	+ 383	▲ 65	-
基礎的収益力(※2)	181	396	▲ 215	335	

(※1) 当期より、従来は「生活産業」の区分に属しておりました国内不動産関連事業を「その他」へ変更しております。また、従来の「化学品・機能素材」を「化学」へ変更しております。「11/12期」の実績につきましても、変更後の事業区分に基づき記載しております。

(※2) 基礎的収益力＝営業利益(貸倒引当金繰入・貸倒償却控除前)＋金利収支＋受取配当金＋持分法による投資利益

(単位:億円)

B/S

	12/12末	12/3末	増減	13/3末 修正見直し (13/2/5公表)
総資産	20,543	21,206	▲ 663	20,600
自己資本(※3)	3,184	3,059	+ 125	3,150
(純資産合計)	(3,457)	(3,305)	(+ 152)	-
自己資本比率	15.5%	14.4%	+ 1.1%	15.3%
ネット有利子負債	6,219	6,478	▲ 259	6,400
ネットDER(倍)	1.95	2.12	▲ 0.17	2.0
(ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	(1.80)	(1.96)	(▲ 0.16)	-
リスクアセット	2,900	3,000	▲ 100	-
リスクアセット/自己資本(倍)	0.9	1.0	▲ 0.1	-

(※3) 自己資本＝純資産 - 少数株主持分

(※4) 将来情報に関するご注意

上記の業績見直しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象が発生した場合は、適時開示等にてお知らせいたします。

前年同期比増減要因

- 機械部門
 - ・海外の一部自動車事業会社で販売台数は増加するも販管費増加等の影響を受けたほか、プラント関連・船舶関連取引の減少もあり減益
- エネルギー・金属部門
 - ・金属資源価格下落の影響、一部権益の生産量減少・コスト増加等により売上総利益は減益
 - ・バイオエタノール生産会社やニッケル製錬会社等の持分法投資利益が減少し、経常利益、当期純利益も減益
- 化学部門
 - ・欧州・中国・アジアを中心とした需要減少による取扱数量減少、販売価格下落等により減益
- 生活産業部門
 - ・海外肥料事業における取扱数量増加、海外工業団地案件の収益寄与等により増益
- その他
 - ・前年同期に不動産関連の評価損計上があったほか、繰延税金資産の取り崩しがあった影響により増益

足元の状況

- 機械部門
 - ・海外の一部地域の自動車事業は好調なるも、プラント関連・IT関連取引の低調な進捗により、全体として通期見直しに対し厳しい進捗
- エネルギー・金属部門
 - ・原油価格は堅調に推移するも、金属資源価格低迷等の影響を受け、通期見直しに対する進捗は低調
- 化学部門
 - ・メタノール事業は引き続き好調に推移しているものの、その他商品の需要低迷による取扱数量減少が響き、通期見直しに対し低進捗
- 生活産業部門
 - ・海外肥料事業、海外工業団地関連を中心に堅調を維持しており、通期見直しを上回るペースで進捗
- その他
 - ・見直しに対して順調な進捗

商品市況・為替

	2011年市況実績 (年平均)	2012年度市況前提 (下期)	2012年度市況実績 (12年4～9月平均)	2012年度市況実績 (12年10～12月平均)	2012年度市況実績 (12年4～12月平均)
原油(Brent)(※1) (\$/bbl)	\$111.3/bbl	\$110/bbl	\$109.0/bbl	\$110.1/bbl	\$109.3/bbl
石炭(一般炭) (\$/トン)	\$121.3/t	\$96.5/t	\$93.1/t	\$89.6/t	\$91.9/t
モリブデン (\$/ポンド)	\$15.5/lb	\$13.8/lb	\$12.9/lb	\$11.2/lb	\$12.3/lb
ニッケル(※2) (\$/ポンド)	\$10.4/lb	\$8.0/lb	1～6月平均 \$8.3/lb	7～9月平均 \$7.4/lb	1～9月平均 \$8.0/lb
銅(※2) (\$/トン)	\$8,821/t	\$7,690/t	1～6月平均 \$8,090/t	7～9月平均 \$7,718/t	1～9月平均 \$7,966/t
為替(※3) (¥/\$)	¥79.5/\$	¥79.0/\$(*4)	¥79.0/\$	¥82.8/\$	¥80.2/\$

(※1) 原油の収益感応度 \$1/bbl変動すると、経常利益で約2億円の影響

(※2) ニッケル、銅については1月～12月の平均市況を記載

(※3) 為替の収益感応度(米ドルのみ) ¥1/\$変動すると、売上高で50億円程度、経常利益で2億円程度、自己資本で12億円程度の影響

(※4) 為替レートは年平均